

あいさいのいえ 地域連携推進会議（報告）

日時：令和7年9月22日（月）9:00～10:30

場所：あいさいのいえつくし

出席：A氏（利用者）※ご両親も代弁者として参加

B氏（利用者家族）

C氏（江西地区民生委員・児童委員）

D氏（愛西市社会福祉課）

E氏（他法人共同生活援助事業所 施設長）

F氏（管理者）

G氏（サービス管理責任者）

1、開会・あいさつ（趣旨説明）

- ・F氏：地域連携推進会議は今年度から各グループホームでの実施が義務化されています。趣旨は、地域の方々の声を取り入れ、健全な運営につなげることにあります。「あいさいの家」は昨年度、「家」と「いえ」に分割しており、地域への周知が十分ではありません。本日は、活動や運営状況をご紹介し、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。

2、会議の目的説明

- ・パワーポイントを用いて説明

3、基礎的なお話

- ・パワーポイントを用いて説明
- ・G氏：Eさんの施設の運営体制はどのようになっていますか。
- ・E氏：6名＋ショート2名で運営。男女共存のため、夜勤・日勤ともに常に男女1名ずつ配置しています。夜勤も二人体制で、職員間のやり取りはほぼ同じです。
- ・G氏：Bさん、ここまでで内容はあっていますか。
- ・B氏：概ねあっています。たまに男性の世話人とも接することがあり、名前は覚えきれません。
- ・C氏：「つくし」という名前の意味は？
- ・F氏：すくすく伸びる意味で福祉施設でよく使われます。
- ・G氏：現場見学の感想は？

・D氏：現場を見る機会がないので、今回見聞きできて勉強になっています。

4、利用者の日常生活の紹介（写真等を用いて）

・パワーポイントを用いて説明

5、権利擁護について

・パワーポイントを用いて説明

6、意見交換

<挨拶・雰囲気について>

- ・A氏：朝昼晩の挨拶が一番大切です。挨拶だけ教えてもらいたいです。
- ・G氏：住居の雰囲気はいかがですか。世話人の態度などは。
- ・B氏：良いですよ。待遇もきちんとしていただいています。
- ・G氏：逆に褒められる場面はありますか。
- ・B氏：普段から良いと思っているので特にありません。きれいにしてもらっており、毎日喜んで通っています。

<入浴・食事について>

- ・E氏：入浴やルールの運用はどうですか。
- ・G氏：基本的に順番やルールは決まっていますが、送迎時間等に合わせて変更可能です。
- ・E氏：夕方は二人体制ですか。1人は入浴介助、1人は食事担当・見守りですか。
- ・G氏：はい。
- ・G氏：Eさんの施設では、食事はどのような形で提供されていますか。
- ・E氏：同じくクックチル（温めるだけの食品）で提供しています。職員の負担が少なく、その分を見守りや他の支援に費やせます。最初は保護者の方の受け入れは難しかったですが、食材購入や調理の負担が大きく、職員が勤め続けるのが難しくなる場合もあったため、施設にとってありがたい方法です。味気なくなりますが、簡単な物を加えることで納得してもらっています。
- ・G氏：以前、Bさんのお母様方にカレーを作っていただいたことがありました。
- ・B氏：「つくし」だけかと思ったら他の住居の分とも言われました。「面白かったね」と楽しんでやりました。その後は声はかかっていますが、言われれば嫌とは言えません。今のうちにお願ひしておくとう助かります、もう年なので。
- ・E氏：こうした取り組みも良いですね。

- ・F氏：以前は食缶で提供されていましたが、世話人はもったいない意識で完食させることがあり、利用者の体重増加にもつながりました。現在はカロリーを抑えつつ、イベント時には調整しています。

<地域とのかかわりについて>

- ・C氏：初めて施設内を拝見しました。支援者、利用者、ご家族とのつながりを大切にすることが、グループホームの運営では一つの「自治」であると考えています。今後、どのように声をかければよいでしょうか。11月16日に第二回福祉フェスティバルを開催します。「つくし」の駐車場もお借りします。少しずつつながりを深めていきたいです。
- ・G氏：Eさんの施設では地域とのつながりはありますか。
- ・E氏：現在はありません。
- ・C氏：防災訓練はどうですか。
- ・E氏：自施設のみで行っており、進め方に課題があります。
- ・C氏：白百合保育園と協力し、炊き出し訓練を行いました。福祉フェスにもつながっています。お母様方も楽しんでおり、市長も来ました。今後も企画します。
- ・G氏：ぜひ参加してみたいです。
- ・B氏：作業所では親の参加が減っています。以前は何十人も来ていましたが、現在は7名ほどです。若いお母様世代は関わらない傾向があります。
- ・C氏：福祉フェスではフリーマーケットも実施します。
- ・B氏：「さや」では親の参加が減り、子ども食堂も職員に連れて行ってもらう形です。
- ・C氏：ポスターなどで情報をお伝えし、家族として関わりを深めていきたいです。

<医療・支援について>

- ・D氏：ショート利用はありますか。
- ・G氏：決まった方が隔週で2~3日利用されています。
- ・D氏：利用者は日中、愛西の里に行っていますか。
- ・G氏：はい。
- ・D氏：訪問看護は週1回、全員まんべんなく受けていますか。
- ・F氏：はい。委託契約で医療的対応ではありません。
- ・D氏：服薬管理はどのように行っていますか。
- ・F氏：日常的には職員が行い、必要に応じて看護師の指示を受けています。確認は常勤職員が行い、直接世話人から家族へ連絡は行いません。
- ・G氏：Eさんの施設では、利用者の受診はどうされていますか。
- ・E氏：現状はご家族に任せています。今後は施設側でも対応を検討していますが、職員の余裕がなく、現状は一部のみ内科医の往診を受けています。
- ・G氏：施設側での受診対応について要望はありますか。

- ・E氏：まだ課題です。対応できる体制の検討が必要です。
- ・B氏：診療所の医師はどのような方ですか。
- ・F氏：協力医として関わっていただいています。
- ・F氏：「つくし」は高齢・身体状況の低下にも対応可能な体制ですが、介護経験の少ない職員が多く、研修や日常の学びが必要です。他住居は賃貸のため改修が難しいですが、「つくし」は自前なので対応しやすくなっています。

<移動支援・交通について>

- ・G氏：「つくし」の利用者は土日ご自宅に帰る方がほとんどですが、別住居ではホームで過ごす方もいます。タクシーや公共交通を利用し、日用品購入や映画鑑賞などに行くことがあります。
- ・B氏：以前試した移動支援は、希望と異なるヘルパー配置で利用者のニーズに沿わず、3回程で終了しました。タクシー利用や電車などで、一回の移動支援で7,000円ほどかかります。

7、まとめ・閉会

- ・田中管理者：グループホームは生活施設で、なるべく閉鎖的にならない開かれた施設を目指しています。ただし、利用者のプライバシーとの兼ね合いもあり難しさを感じています。訪問看護等で看護師が入ることで外部の目が入り、専門的な意見を得られることは非常にありがたいです。世話人に関する支援の意見も聞き、それを改善に生かすことがあります。このため、外部の意見を聞くことは非常に意義深いです。